



支援連携だより R6 第2号
令和7年 9月 29日
小田原支援学校 支援連携部
題字: 高 A3年生徒作品

夏の公開研修会が行われました！

今年度の小田原支援学校の公開研修会は「まるごと！インクルーシブ2～合理的配慮を体験しよう～」をテーマに、講演や展示の中に、対話や体験を盛り込んだ研修会となりました。多くの地域の先生方や関係機関の方々にもご参加いただき、活気溢れる2日間となりました。

本校が、小田原市立足柄小学校と協力し、インクルーシブ教育へ向けての新たなセンター的機能の在り方の研究を進めて3年目。地域のみなさんとともに、さらに学びを深めることができました。

7月24日（木）

講演 「学齢期における発達特性のある子どもの理解と保護者支援」
講師 元平塚市役所子ども発達支援室くれよん統括 和久井 葉子 氏
共催 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町地域障害者自立支援協議会子ども部会

7月25日（金）

AM 講演 「誰ひとり取り残されない学校づくりに向けて」
講師 埼玉県戸田市教育委員会教育政策室指導主事 藤本 恵美 氏

PM 「今日から使える！支援のヒント大展示」

◇福祉機器展 ◇教材教具展 ◇人的交流による研究の報告

～講演～

でこぼこのある子どものつまずきや支援についてのお話で多くの方の教職員や関係機関職員の参加がありました。



小グループに分かれてのディスカッションも盛り上がりました！



～人的交流による研究の報告～

足柄小での取り組みを3つのブース（インクルーシブ出張授業・リソースルーム・まねく交流）に分かれて報告しました。地域小中学校ですぐにやってみたくなるしかけや教材がたくさん紹介されました！



「今日から使える！支援のヒント大展示」の様子を一部ですが紹介します！

福祉機器展

さまざまな福祉用具業者さんが来校し、日常生活や余暇に役立つ道具、たべやすい食品、落ち着くための感覚グッズなどを紹介してくださいました。保護者や児童・生徒の皆さんにも体験してもらえました。

座りやすいクッション



重いブランケット



おも
重みでおちつく～

入浴用いすとりフト



校内教員の自作教材・教具展

小田原支援学校の教員が日々の指導に使用している教材・教具を展示しました。この他にも、一人ひとりの教育課題に応じて様々な工夫がなされた教材・教具を展示しています。



高等部作業班「織工班」

「カラコ」に糸を通す手順などを写真入りのマニュアルで提示。初めてでもできるよう工夫されています。



(中学部)朝や帰りの会で使用しているスケジュールボードです。1日の流れを教科(文字)・イラスト・場所(写真)・時間で示し、見通しを持てるよう使用しています。



(小学部・肢体)おしたり触れたりする操作によって音・光・動きが出るスイッチ教材。少しの操作をきっかけに大きな反応を体験できるツールです。



(小学部・知的)防災のための手作り教材。地震時にとる姿勢などを揺れを体験しながら練習できる教具です。ゆっくり座れば大人も乗れます。